

# 答 申 書

～端野自治区内事業の今後のあり方について～

令和元年11月

端野まちづくり協議会



令和元年11月13日

北見市長 辻 直 孝 様

端野まちづくり協議会  
会 長 岡 村 廉 明

端野自治区内事業の今後のあり方について（答申）

令和元年9月3日付けで諮問のありました端野自治区内事業の今後のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。



## はじめに

これまで端野自治区では、基幹産業である農業の振興を柱に安全・安心で快適な居住環境づくりと、屯田の杜公園を中心とした子育て・教育環境を整備しながら、未来を担う心豊かな人づくりを目指したまちづくりに取り組んできました。

しかし、近年は集中豪雨や地震など、気候変動の影響による急激な気象の変化等により自然災害の頻発化・激甚化の脅威にさらされています。

このような自然災害に備え、生命や財産を守る防災・減災・国土強靱化は一層重要性が増しており、喫緊の課題となっております。

災害リスクが高まるなか、行政によるハード・ソフト対策が計画的に実施されることが重要ですが、それだけでは限界があります。私たちも常日頃から顔の見える関係づくりや地域間の助け合いなど「自助・共助・公助」連携による地域コミュニティを軸とした支援体制づくりを進めていかなければなりません。

本年3月には最上位計画である「第2期北見市総合計画」が策定されました。本格的に人口減少・少子高齢化が進むなか、豊かな暮らしを続けていくためには誰もが、このまち（端野）に愛着と誇りを持ち、市民と行政が連携し、さらなる協働を進めながら、人と人のつながりを大切にするまちづくりが求められております。限られた財源の中で、子育てがしやすく、育児や介護をしながらでも働くことができる環境整備や高齢者を中心とした交通弱者が安心して暮らすための生活圏の利便性向上など、地域特性を活かした魅力あるまちづくりに取り組む必要があります。

端野まちづくり協議会では、令和元年9月3日「端野自治区内事業の今後のあり方について」の諮問を受け、北見市の将来像「ひと・まち・自然きらめくオホーツク中核都市ー未来を拓く活力創造都市北見ー」の実現に向け、基本構想における端野自治区のめざす方向性と施策展開に基づき、第2次実施計画に盛り込むべき事業について、様々な角度から検討を重ね具体的な議論を行い、この答申書をまとめました。



▲端野まちづくり協議会  
～端野自治区の今後のあり方について

## 主な意見として

- 防犯対策と安全確保の面から旧緋牛内保育所及び旧緋牛内小学校校舎の早期解体と跡地活用の検討を願う。
- 避難所にも指定されている農業者トレーニングセンターの温水暖房器は老朽化が激しいことから、冬季利用や避難所機能に支障がでないよう早急な更新を願う。
- 農業者トレーニングセンターアリーナの床はウレタンの剥離に伴い傷やささくれ、段差が激しいことから、安全で快適に利用できるよう早急な改修を願う。
- 基幹産業である農業のまちとして今後も継続した農業基盤整備について、国や道と連携して進めて欲しい。
- 河川氾濫等による内水被害を軽減し、農業の持続的な振興を図るため、計画的な排水ポンプの設置を願う。
- 排水路の排水能力を向上させるため、計画的な維持管理（土砂上げ等）の実施を願う。
- 端野町物産センター周辺で倒木の危険性があるシラカバの木については、伐採し安全の確保を図って欲しい。
- 道路整備には有利な財源を活用し、住民ニーズを把握した中で効率的かつ効果的に事業を進めて欲しい。
- 近年の局地的集中豪雨等に対応した河川の土砂上げや支障木の除去など、災害に備えた整備を進めて欲しい。
- 地域活動や自治会活動の拠点である各地域生活センターは、避難所として指定されているため、防災拠点として機能するよう計画的にバリアフリー化（トイレ含む）と施設改修を願う。

などの意見が出されました。

以上のことを踏まえて、「端野自治区要望事業一覧」46事業を採択し、その中でも、特に採択順位や優先度が高いと考える7事業について、第2期北見市総合計画の基本目標に沿って、その内容や必要性について申し上げます。

## 基本目標 1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

地域包括ケアをより一層充実させるためには、新しい地域支援事業の構築、市民の自助的な健康づくりと介護予防、地域で活動する様々な担い手との協働と支え合いが必要不可欠であることから、端野地域に地域包括支援センター機能を明確に位置づけするよう要望してきました。

地域包括支援センターの設置については、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画期間内（平成30年度から令和2年度）において「各センターが担当する日常生活圏域の高齢者人口の推移等を勘案するとともに関係者と協議を行う」とされていることから、確実な地域包括ケア体制の整備を強く要望します。



▲ぼくと私のクッキング  
笑顔で囲むコミュニティーランチ

### 【端野デイサービスセンター送迎用車両更新事業】

端野デイサービスセンターは、（社福）北見市社会福祉協議会への指定管理業務委託により運営されておりますが、施設の備品（車両含む）は市の財産として管理されております。

管理車両3台のうち1台（リフト付ワゴンタイプ）は平成8年に購入したもので、使用年数22年、走行距離18万kmとなり、故障に伴う補修部品の廃盤、老朽化による雨漏りやフレームの歪みなどの不具合も多く利用者の送迎に支障をきたしております。

送迎用自動車は、端野デイサービスセンターでの活動を楽しみにしている利用者にかさすことのできない移動手段であることから、快適で安全に利用するために車両の更新を強く要望します。



▲デイサービス送迎用自動車更新  
より良いサービスを提供するために

## 基本目標2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

### 【農業者トレーニングセンター整備事業】

農業者トレーニングセンターは、昭和58年の開館から30年以上が経過し、暖房温水器やアリーナの床など経年劣化による不具合が生じております。

特に、施設内暖房は温水器1機を熱源としておりますが、缶体の老朽化が著しく補修部品の廃盤に伴い、いつ作動不能になるかが危惧されております。

また、アリーナの床は過去2度のウレタン塗布を行い維持されてきましたが、ウレタンの剥離により傷やささくれのほか、段差も激しく剣道をはじめとする少年団や各種競技等における利用者の裂傷など怪我の原因となっております。

利用者の安全確保をはじめ、冬期間の安定的な利用と災害時の避難所としての機能を維持するため、早急かつ計画的な暖房温水器の交換とアリーナの改修を強く要望します。



▲たんのチャレンジ剣道クリニック  
利用者の安全確保のために

### 【郷土芸能保存交流事業】

端野自治区で継承されている豊実神楽は、昭和5年に宮城県伊具郡丸森町から豊実地区に入植した開拓者が故郷の山伏神楽を地域の人たちに手ほどきしたのが始まりです。この伝承交流がきっかけとなり平成8年に姉妹都市提携が結ばれ、子ども交流や物産交流など「人・物・心」の交流が続いております。

しかし、最近では豊実神楽保存会会員の高齢化や後継者不足により、新たな会員が増えないことや発表の場の減少など伝承芸能を広く普及することができない状況にあります。

この貴重な伝承芸能の灯を絶やさないためにも、現在行われている子ども交流事業との連携を図りながら、豊実神楽の源流となる山伏神楽の演舞や歴史を学ぶ場を提供し、将来の人づくり、まちづくりにつなげることができるよう、継続した事業の展開を強く要望します。



▲端野自治区の貴重な郷土芸能  
豊実神楽の活動の灯を絶やさないために



## 基本目標3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

### 【農地排水対策事業】

端野自治区を流れる常呂川には、大雨により河川が増水した際、小河川や水路への逆流を防ぐための施設である樋門が6か所設置されておりますが、近年の想定規模を超える集中豪雨の多発により堤外農地はもとより堤内農地の浸水被害の危険度が増している状況にあります。

こうした内水被害を軽減するため、主要な地点（端野右岸樋門、忠志25号樋門、忠志1号樋門）の3か所に排水ポンプを設置するよう要望してきたところであり、現在国による釜場建設に向け準備段階に入っていることから、釜場の早期建設と計画的な排水ポンプの設置を強く要望します。



▲端野右岸樋門  
早期の排水ポンプ設置を

## 基本目標4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

### 【端野町7号線道路整備事業】

夕陽ヶ丘道路（東相内～小泉）は東9号線が終点となりますが、今後において東10号線まで延伸する計画となっております。

現在、北2線道路と国道39号線の間には北見・端野自治区を結ぶ舗装道がなく、近隣高校に通う生徒の多くは用水路横の畦道を通学路としている状況にあることから、端野自治区内の7号線道路を東10号線まで延伸し、夕陽ヶ丘道路に接続することで、通学生を含む歩行者の安全性と両自治区間の効率的な移動が確保されるほか、十勝オホーツク自動車道へのアクセス路として、広域的な道路ネットワークが補完されることから、事業の実施を強く要望します。



▲夕陽ヶ丘道路の延伸  
快適な生活空間の充実のために

## 【河川改修事業】

大規模災害の発生による災害リスクの低減を図るためには、国土強靱化の考え方を踏まえつつ、災害時の被害を最小限化させる防災・減災との総合的な対策が重要となっており、河川の小規模改修や土砂上げを行うことが重要な要素であることは間違いありません。

端野自治区が管理する普通河川は、土地改良等の排水路整備事業で改修されている箇所もありますが、施設の老朽化が進んでいることから大雨が降るたびに流出土砂により既設の側溝や横断管の閉塞等の被害を受け、さらには氾濫した河川は隣接する農地等をも侵食させ被害を増大させている状況にあります。

こうした被害を最小限に抑制するため、現況施設を調査し、計画的な改修を強く要望します。



▲常呂川端野左岸地区護岸整備  
災害に強いまちをめざして

## 基本目標5. 市民による自主自立のまちづくり

### 【地域生活センター維持補修事業】

端野自治区には、自治会活動やサークル活動など地域コミュニティの活動拠点として地域生活センターが8館ありますが、建設から30年以上経過した施設もあり、長寿命化を図るため年次計画により補修工事を行ってきております。

センターを利用する地域住民も高齢化してきていることに伴い、車椅子での利用が可能となる多目的トイレの設置や計画的な施設改修等により延命化を図ることが重要であり、特に災害時における避難所として重要な役割を持つ施設であることから早期の整備を強く要望します。



▲地域生活センター  
地域の拠点と避難所機能を維持するために

## むすび

端野自治区においては、これまで端野小中学校の移転改築事業をはじめ、小中学校前の7号線道路を軸として北見商業高校から小中学校、そして二区屯田の杜公園の公共施設群につながり、端野自治区の骨格となる町並みが形成されてきたところです。

しかし、その一方で旧町時代にあった様々な審議会等がなくなったことの影響で、各団体等において当たり前に行われてきた、まちづくりの中心となる担い手の発掘、育成が大変難しく、まちづくりの主役を次の世代へとつないでいくことが課題となっていることから、異なる業種や分野の人材をどのようにまちづくりに結びつけていくことができるかを考えていかなければなりません。

これからの端野自治区のあり方を考えるうえで「まちづくりは人づくり」の視点がまちづくりの根幹であり、ハード事業を進めると同時に住民同士の交流機会の創出などソフト事業の構築も図る必要があると感じております。

また、端野自治区の課題の一つに旧端野小中学校用地の跡地利用があります。この跡地は、北見市やオホーツク管内のほぼ中央に位置し、国道からのアクセスも良く、今年度新規事業化が決定した北海道横断自動車道網走線（端野高野線）にも隣接しております。現在までに完成している自動車道にはパーキングエリアがないことから、安全運転に配慮した休憩施設と災害対応に備えたパーキングエリアの設置や道の駅・物流センターなど幅広い視点による跡地利用について、研究・検討を進めていただくことを望みます。

あわせて、端野図書館の整備事業は、新市まちづくり計画、それを受け継いだ北見市総合計画にも掲載されている事業であり、北見市立図書館振興計画においても早期の改築整備が謳われております。

端野まちづくり協議会としても魅力ある図書館となるよう様々な視点から知恵を出し合い、子育て世代を中心とした滞在型のものとするなど、他の図書館との差別化を図り市内外の人とも交流可能な地域づくりやまちづくりの一拠点として、屯田の杜公園周辺施設も併せて一体的な利用につながるよう期待しているところです。

第2期北見市総合計画～第2次実施計画の策定にあたりましては、端野自治区の事情を十分にご参酌いただき、本答申を最大限尊重されますよう強く要望します。

また、来年4月には地方公務員法の改正に伴う自治区長の身分の厳格化が図られますが、自治区制度自体を改正するものではないことから、自治区の均衡ある発展のため、今後においても地域住民の声をしっかり市政に反映させ、自治区を守り高めていただくよう重ねて強く要望します。



▲屯田の杜公園 ウォーターパーク  
憩い集える親水公園

# 協 議 経 過

・ 端野まちづくり協議会 「端野自治区内事業の今後のあり方について」 開催状況

協議回数	日 時	場 所	内 容
第1回	9月3日(火) 午後6時00分	総合支所	諮 問 端野自治区内事業の今後のあり方について
第2回	10月3日(木) 午後7時00分	総合支所	説 明 諮問から答申までの流れ 議 題 端野自治区内事業の今後のあり方について
第3回	10月17日(木) 午後7時00分	総合支所	議 題 端野自治区内事業の今後のあり方について ～答申書(案)～
第4回	10月23日(水) 午後7時00分	総合支所	議 題 端野自治区内事業の今後のあり方について ～答申書(案)～

# 端野自治区要望事業一覧

★は優先順位が高いと考える重点事業

## 1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

### (1) 希望あふれる子育て支援の充実

1	絆牛内保育所解体事業	園舎解体工事（アスベスト調査含）、上下水道撤去申請・検査料、リサイクル家電等処分料
2	端野中央保育園施設整備事業（冷蔵庫）	冷蔵庫購入（廃棄料含）

### (3) 支えあう福祉の推進

★ 3	端野デイサービスセンター送迎車両更新事業	リフト付ワゴン車の更新
-----	----------------------	-------------

## 2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

### (2) ともに学びあう生涯学習の推進

4	端野町公民館整備事業	屋外防水及び外壁（一部）改修工事、冷暖房設備ポンプ更新
5	端野町公民館無線通信機器等更新事業	無線通信機器等の更新
6	端野町公民館管理運営事業	備品更新（会議室用椅子等）
★ 7	農業者トレーニングセンター改修事業	暖房温水器改修、アリーナウレタン塗布、排煙設備改修、水道メーター器の更新
8	屯田の杜公園改修事業	水道メーター器の更新
9	農業者レクリエーションセンター改修事業	浄化槽の循環ポンプ移設等
10	移動図書館運行拡大事業	端野図書館の移動図書館を活用し、図書館利用が困難なサービス空白区域を解消し、全域サービス網の拡充を図る

### (3) 地域文化を育む文化活動の推進

11	端野町公民館文化鑑賞推進事業	グリーンホール（固定席）を活用した一般向け文化鑑賞事業の実施
★ 12	郷土芸能保存交流事業	端野自治区内で継承されている「豊実神楽」と源流である姉妹都市丸森町の「山伏神楽」を小学生に伝承し、伝統芸能を通して歴史文化を学ぶとともに、丸森町との交流を図る

### 3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

#### (1) 魅力と活力ある産業振興

13	地域おこし協力隊事業(豊北地域農業協力員)	国の制度を活用し、地域就農を目指す農業協力員の導入
14	端野町農業振興センター備品購入事業	施設備品の更新（プレハブ式冷蔵庫、ガスコンロ等）
15	水利施設等保全高度化事業 端野川向協和	農業用排水路工事、農道附帯工事
16	水利施設等保全高度化事業 端野下右岸第2	農業用排水路工事
17	水利施設等保全高度化(高収益作物)川向協和	農業用排水路調査設計・工事、用地買収補償
18	農地整備事業（通作条件整備型）端野一区	農道点検診断・工事
19	協栄ダム畑地かんがい施設整備事業	ダムの水田利用から畑地かんがい利用への水利権変更及び耐震性点検の結果を踏まえた耐震化対策、防災減災対策を講じる
★ 20	農地排水対策事業	常呂川（一区・忠志地区）の樋門への排水ポンプ設置
21	排水路維持管理事業	排水路の土砂上げ等
22	林道支障木処理事業	支障木の処理
23	自動車購入費	農道・排水路等の悪路走行及び災害時対応に適した車両の更新
24	多面的機能支払交付金事業	共同活動：7活動組織が実施 ・農地、水路等施設の維持管理 ・農村環境の保全

#### (2) にぎわいと交流の観光振興

25	端野町物産センター周辺樹木伐採事業	倒木の危険性がある樹木の伐採
26	端野町交流促進センター施設改修事業	「のんたの湯」施設の改修

#### 4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

##### (1) 豊かな自然環境の保全

27	塵芥収集車更新事業	塵芥収集車更新に係る分割支払（R2～5年度）
28	旧端野廃棄物処理施設管理業務	浸出水処理施設の設備補修等
29	LED灯切替事業	水銀灯やナトリウム灯からLED灯への切り替え

##### (2) 快適な生活空間の充実

30	端野町163号線道路整備事業	道路改良舗装工事
31	端野町201号線道路整備事業	道路改良舗装工事
32	端野町301号線道路整備事業	測量設計、道路改良舗装工事
★	33 端野町7号線道路整備事業	測量設計、用地買収・物件移転補償、道路改良工事
34	端野町263号線道路整備事業	測量設計、道路改良舗装工事
35	端野町306号線道路整備事業	測量設計、道路改良舗装工事
36	地籍成果修正事業	基準点測量、現地調査、地図・地籍更正登記のための面積計算、地積測量図等関係図書の作成
37	オーバーレイ舗装整備事業	市道舗装のオーバーレイ工事（再舗装）
38	道路区画線塗装等交通安全対策事業	道路区画線塗装
39	市営住宅建替事業	親交団地（木造平屋）建設、旧住宅C B造除却解体、駐車場整備
40	市営住宅改善事業	中央団地外壁及び内部の手すり等の改善

### (3) 地域の安全安心の確保

★	41	河川改修事業	普通河川等の調査設計、護岸改修、法面補修工事
	42	道路維持補修事業	道路排水整備、側溝整備、測量調査等
	43	道路維持用自動車更新事業	道路パトロール等の災害時対応に適した車両の更新

## 5. 市民による自主自立のまちづくり

### (1) 市民主体の住民自治の推進

	44	端野まちづくりパワー支援補助金	個性豊かで活力ある、住みよい地域社会を構築するために、地域の活性化に向けて住民が「自ら考え、自ら実践する」まちづくり活動事業に対する補助
★	45	地域生活センター維持補修事業	川向文化センター玄関ポーチ床改修工事、トイレバリアフリー改修工事（二区・三区）

### (3) 効率的な地域経営の推進

	46	端野総合支所庁舎整備事業	庁舎設備等修繕
--	----	--------------	---------



## ◇端野まちづくり協議会◇

【委嘱期間 H30.6.14~R2.6.13】

	氏 名
会 長	岡 村 廉 明
副 会 長	中 島 英 樹
委 員	伊 藤 紀 子
委 員	大 友 三 明
委 員	斉 藤 千 尋
委 員	坂 森 ナ ミ
委 員	佐 藤 匠
委 員	真 田 健
委 員	土 山 毅
委 員	寺 崎 博
委 員	林 裕
委 員	平 川 千 春
委 員	細 川 純 子
委 員	樅 山 馨
委 員	渡 辺 まゆみ

(会長・副会長を除き、50音順)

